

三重の土地改良アラカルト

国営施設機能保全事業 「中勢用水地区」について

1 地区の概要

本地区は、三重県のほぼ中央部で、津市、亀山市の2市にまたがる受益面積3,183haの水田地帯であり、水稻を基幹として、小麦、大豆を組み合わせた土地利用型の水田農業が定着しているほか、キャベツ等の野菜、さつき等の花木、みかん等の果樹等、多様な農産物の生産がおこなわれています。

2 事業の現況及び目的

本地区の基幹的な農業水利施設である安濃ダム、第三頭首工、用水路等は、国営中勢用水土地改良事業（昭和47年度～平成2年度）により造成されましたが、近年、施設の経年劣化やダム貯水池内の堆砂の進行により施設機能の低下、維持管理への負担が増えています。

このため、本事業は、安濃ダム、第三頭首工及び用水路等の機能を長期に渡り保全するための整備を早期に行うことにより、施設の維持管理の軽減及び農業用水の安定供給を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

3 事業内容

総事業費：25億円（平成22年4月時点）

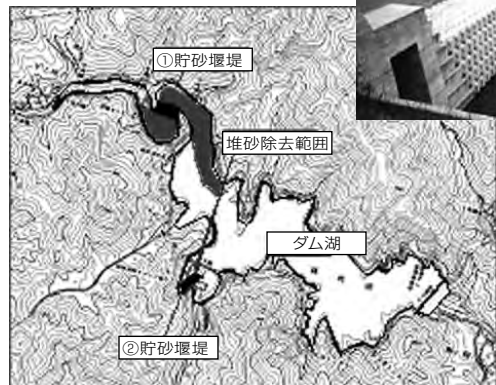
事業工期：平成24年度～平成33年度（予定）

1) 安濃ダム

安濃ダムの堆砂は、建設当時計画していた量より非常に早く進行しています。そのため、本事業では、ダム湖内に流れ込む土砂を抑制するために、貯砂堰堤を2箇所設置し、約13万m³土砂を取り除くこととしています。



貯砂堰堤設置イメージ



また、ゲート及び電気設備等の改修を行うこととしています。

2) 第三頭首工

護岸工、魚道、エプロン等の改修を行います。



擁壁護岸の沈下・傾倒



ブロック護岸の破損・沈下

3) 用水路

ひび割れ、継手の目地開き等を改修します。



トンネルのひび割れ



管水路の継手開き

4) 水管理施設

製造中止部品が多く故障時の対応が限界に達しているため、親局～孫局を更新します。



中央管理所水管理施設 操作卓（ミニグラ付）

4 事業実施状況等

平成25年5月に中勢用水土地改良区の2階に中勢支所を開設し事業を実施しており、平成26年度までの進捗率は約30%を予定しています。

主要工事の安濃ダム堆砂対策については、ダム湖内で工事を実施することから、ダム水位が下がる夏期に行うこととしています。そのため、平成25年度のダム湖内への進入道路工事は、台風17号及び18号により繰越工事となりました。安濃ダムの堆砂対策などの施設機能の保全は、関係機関及び地域住民のご理解とご協力なしでは実施出来ないものであり、一つ一つ課題を解決しながら事業を実施しているところです。